

提 案 概 要

実施期日	7月31日(金)
部会名	中学校 外国語部会

1 提案テーマ 『生徒一人ひとりが自分の考えをもち、仲間との学び合いを大切に、主体的に課題解決しようとする学習指導の工夫・改善』

2 単元(題材) Chapter 3 Project 「将来の夢」 (学校図書 TOTAL ENGLISH ②)
Chapter 1 Project 「日本の伝統文化を紹介しよう」 (学校図書 TOTAL ENGLISH ③)

3 学年 第2学年～第3学年

4 平成27・28年度神奈川県中学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

①言語活動の充実と言語材料の定着を図る指導の工夫・改善

4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成するための言語活動の充実、語彙や文法の習得を言語活動と効果的に関連付けた指導の工夫・改善

5 学習指導要領との関連

第2章 第9節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語 2 内容

(2) 言語活動の取扱い

ア(ア) 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動を行うとともに、(3)に示す言語材料について理解したり練習したりする活動を行うようにすること。

6 実践に向けての課題意識

英語に対する学習意欲は高く、真面目に取り組む生徒が多い。ペアワークやグループ活動でも協力して活動している。しかし、受動的な生徒が多く、自分の考えを相手に伝える力が身に付いていないと感じることがある。そこで仲間との学び合いを通し、生徒一人ひとりが主体的に言語活動に取り組めるよう、教材開発や指導の工夫・改善を心がけた。

7 実践の概要

第2学年では、2学期の総合的な学習の時間の活動として行った「職場体験活動」を題材にスピーチを行った。活動内容などについて、一人1分程度のスピーチを各自が作成し、スピーチ内容の充実を図るため、原稿作成の過程にグループ活動を取り入れた。個人で作成した原稿を生徒同士で意見交換をするなどして、手直しをし、スピーチの内容を高め合った。

第3学年では、5月に修学旅行先である飛騨・高山の文化や歴史を題材にしたスピーチを行った。町や名産品などの紹介が中心となる内容のスピーチが多かった。教科書を活用しながら、ペアワークやグループ活動を取り入れ、生徒同士が学び合う場を設定しスピーチ内容の充実を図った。

8 成果と課題

実際に体験した内容についてのスピーチであったことから、英文も作りやすく、内容も聞き手にとってわかりやすかったようだ。原稿作成の過程にペアワークやグループ活動を入れたことで、生徒間での手直しや内容の深め合いができ、個人的な活動だった原稿作成が生徒同士の学び合いの活動につながられた。

今後も年間を見通した指導・評価計画のもと、計画的に学び合う活動を増やしていきたい。

9 予想される協議の柱

- ・生徒同士で学び合い、高め合う指導の工夫・改善について (学習意欲を高める学習指導のあり方)
- ・スピーチなどの言語活動を行ううえで効果的な教科書の使い方について